

広報

No.169 令和5年(2023年)11月

大阪府バドミントン協会

〒574-0046

大東市赤井3-5-5 第2池田ビル2A

TEL 072-806-8558 FAX 072-800-8546

ホームページアドレス

<http://www.osaka-badminton.jp/>

新役員スタートにあたって

大阪府バドミントン協会 会長 銭谷 欽治



日頃より大阪府バドミントン協会に対しましてご支援ご協力ご理解を頂き心より感謝申し上げます。

さて本年3月19日、本会総会にて私が会長に専任し前野新理事長が就任、新体制をスタートすることになりました。大阪府バドミントン協会全理事、関係者の皆様におかれましては本会の益々の発展へのご

尽力の程、心よりお願いする次第です。

新体制がスタートした直後にはコロナ禍で3年間、余儀なく中止されていた大阪インターナショナルチャレンジバドミントン選手権大会を4年ぶりに開催する事が出来ました。

大会をサポート頂いています(公財)日本バドミントン協会・ヨネックス・グアード・ドリンク様をはじめ関係者の皆様には久々の国際大会開催にあたりご尽力頂き心より感謝申し上げます。

過去最大の日本含め17か国からの参加があり関心の高さを実感致しました。

しかしながら観客動員では課題も多く、この関西・大阪での国際大会の認知度アップとジュニアを含めた全てのバドミントンファンに対してのPR施策も課題として残ったと思っています。

時期は少しずれますが、6月からは(公財)日本バドミントン協会も大幅な機構改革により理事10名体制となりスタートしました。評議員55名体制は継続となり4年の任期は変わらないようです。世界の流れも速くジェンダー問題他、ガバナンス、コンプライアンス、財政面そして会員拡大、選手育成も含めた諸々の課題に対して速やかに取り組むことが求められていると思います。

本会においても喫緊の課題として協会理事・役員の手育成が最重要だと認識しています。加えて安定した財政基盤の構築と会員拡大も必要です。社会環境の変化も非常に速く既存の組織・運営体制も時代に合ったものに変革していく事が非常に重要だと考えています。

バドミントンスポーツが大好きで関心の高い方々、特に時代を担ってくれる若い世代人材が快く参画できる協会組織に変革させ、発展することが必須であり、何とか模索しながらも理事・関係者の皆様と一緒に取り組みたいと思っています。

理事長就任にあたって

大阪府バドミントン協会 理事長 前野 純一



今年3月に新理事長に就任いたしました、前野純一です。前理事長同様にご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

まず初めに、前理事長の銭谷欽治様には在任中、バドミントンの発展に多大な貢献をなされたことに尊敬と敬意を表し、今後も会長としてのご活躍を期待いたします。

大阪府バドミントン協会は、レディース連盟、社会人連盟、実業団連盟、教職員連盟、学生連盟、高校体育連盟、中学校体育連盟、小学生連盟の8団体からなり、市民や加盟団体の皆さん、また、歴代会長をはじめ役員の皆様のご尽力により、確固たる基盤を築き上げて参りました。近年のバドミントン競技の人気により競技人口は確実に増加していますが、トップ選手を含む競技団体の会員の縮小に対し、健康対策や趣味として楽しむクラブ団体の隆盛が進んでいることも課題と考えています。

一方で、上位団体である日本バドミントン協会は、その組織を大きく見直されることとなり、会計、法律、企業経営者、もしくはESG(環境・社会・ガバナンス)やSDGs(持続可能な開発目標)など様々な社会課題を解決するプロフェッショナルが、今後監督することになります。そのガバナンスの見直しは、近畿バドミントン協会、そして各府県の協会や連盟にも迫られることとなり、組織運営や役員の任期など定款の見直し、役員の高齢化や次の世代への交代が進んでいないことなど課題は山積みです。

また、日本のスポーツ全体の問題でもありますが、スポンサー企業や公共団体からの提供およびテレビ放映権だけに頼る方法では運営は難しく、自治体からは逆に高額の使用料、光熱費を請求される状況で、各スポーツ団体に営利事業としての独立を促されており、諸外国がすでに実践しているWebを活用したスポーツ愛好家からの直接的収入源の確立なども今後の課題になると考えています。

大阪府バドミントン協会は、今年で創業75周年を迎えます。大阪インターナショナルチャレンジバドミントン選手権大会、ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会という国際大会を大阪府で開催しており、それぞれの連盟においても、大阪府で全国大会を開催したいというニーズは高まっています。大阪府バドミントン協会は近畿だけでなく西日本の中心としての役目を担っており、その運営責任もより大きなものになってきています。

永年に亘り高く挙げた灯りが絶えることなきよう、また、新たなステージを新理事と共に築くことを決意致しますので、引き継ぎ、ご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

大阪インターナショナルチャレンジ選手権大会

(2023年3月29日(水)～4月2日(日) 守口市民体育館)
大阪インターナショナルチャレンジ選手権大会
4年ぶりに開催

コロナの影響により中止が続いていた「大阪インターナショナルチャレンジバドミントン選手権大会2023」を4年ぶりに開催することができました。

287名の選手が参加(日本選手114名、外国選手173名)し、競技役員延べ552名で行われました。

多くのバドミントン愛好者の方のたくさんのご来場、ご声援を受け、無事に終わることができました。誠にありがとうございました。



【各種目優勝者】(カッコ内は参加人数)

男子シングルス(57名)	TANAKA, Yushi (Japan)
男子ダブルス(48組)	MIDORIKAWA, Hiroki・YAMASHITA, Kyohei組(Japan)
女子シングルス(56名)	SAITO, Shiori (Japan)
女子ダブルス(41組)	LEE Yu Lim・SHIN Seung Chan組(Korea)
混合ダブルス(30組)	WANG Chan・SHIN Seung Chan組(Korea)

【開催要項より】

主催 公益財団法人日本バドミントン協会(NBA)
公認 世界バドミントン連盟(BWF)
主管 大阪府バドミントン協会
協賛 (株)ヨネックス・(株)ダイドードリンコ
オフィシャルドリンク (株)ダイドードリンコ
開催日時 2023年3月29日(水)～4月2日(日)
会場 守口市民体育館
賞金総額 US\$25,000
競技種目 男子シングルス・男子ダブルス
女子シングルス・女子ダブルス
混合ダブルス

メインドロー 各種目共 32

参加資格

1. BWFランキング海外選手
2. 日本バドミントン協会選手強化本部推薦選手
3. 協賛会社推薦選手

令和5年度大阪総合選手権大会

(5月20日 大阪市立千島体育館・5月27日 大阪市立東淀川体育館・6月3日 大阪市立千島体育館・6月11日 おおきにアリーナ舞洲)

【各種目優勝者】(カッコ内はチーム名)

30男子単	鎌田 寛司(KAERUDAN)
30女子単	前田 志穂美(Y CLUB)
35男子単	喜來 順司(KATUYAMA OBC)
35女子単	谷岡 由布子(なでしこ)
40男子単	朝田 高志(KANSAI CLUB)
40女子単	古川 静香(大阪府実連)
45男子単	荒木 直人(KATUYAMA OBC)
45女子単	有田 彩子(大阪フェニックス)
50男子単	林 潤一(大阪フェニックス)
50女子単	有田 明希子(大阪フェニックス)
55男子単	正岡 毅(HIWAKAI)
60男子単	楠本 直樹(豊中クラブ)
60女子単	西林 知子(ふるーる)
65男子単	松口 金彦(ILLC)
70男子単	高田 真一郎(友鳩サークル)
75男子単	酒井 正博(鴨谷グース) 松田 勝之(N&A)
一般混合複	上田 竜也・橋本 胡々杏(TrickyPandars・大阪府実連)
30混合複	尾野 拓郎・原 優歌(池田クラブ)
35混合複	高田 有佑・岡崎 紗代(KATUYAMA OBC・GANBARO)
40混合複	岡田 淳・草薺 美幸(相生クラブ・CARROT CLUB)
45混合複	松井 充・渡邊 青子(TrickyPandars・大阪府実連)
50混合複	有田 圭一・利川 三貴(大阪フェニックス)
55混合複	矢野 勝久・小船 裕美(池田クラブ・HIWAKAI)
60混合複	早水 栄治・松本 美和(大阪ガス・鴨谷クラブ)
65混合複	中村 雅次・秋山 とよ(Red Shuttle・SBC)
一般男子単	小高 拓也(WAKOKAI)
一般女子単	原 菜那子(四天王寺高校)



特別国民体育大会・大阪府代表選手選考会

(2023年7月1日～ 東大阪大学柏原高校体育館)

種目	優勝	準優勝
成年男子単	曹淵鍼 (ふ・日本大学)	下農 走 (ふ・トナミ運輸)
成年女子単	岩城 杏奈 (ふ・丸杉)	兒玉 亜依 (ふ・立命館大学)
少年男子単	井上 結登 (東大阪大学柏原高校)	佐藤 瑠活 (東大阪大学柏原高校)
少年女子単	玉木 亜弥 (四天王寺高校)	原 菜那子 (四天王寺高校)
成年男子複	下農 走 (ふ・トナミ運輸) 三浦 昂 (タチバナ)	谷津 央祐 (ふ・法政大学) 山下 蒼羽 (ふ・日本体育大学)
成年女子複	坂中 琴音 (ふ・立命館大学) 兒玉 亜依 (ふ・立命館大学)	伊藤 妃香瑠 (ふ・龍谷大学) 山岸 葉月 (近畿大学)
少年男子複	佐藤 瑠活 (東大阪大学柏原高校) 神山 剛輝 (東大阪大学柏原高校)	井上 結登 (東大阪大学柏原高校) 山田 悠太 (東大阪大学柏原高校)
少年女子複	原 菜那子 (四天王寺高校) 玉木 亜弥 (四天王寺高校)	溝上 愛梨 (四天王寺高校) 米本 宙那 (四天王寺高校)

※「ふ」:ふるさと選手

特別国民体育大会近畿ブロック大会

(8月26日・27日 神戸市立中央体育館)

種目名	優勝	2位	3位	4位	5位	6位
成年男子	滋賀県	大阪府	奈良県	京都府	和歌山県	兵庫県
成年女子	大阪府	兵庫県	滋賀県	京都府	奈良県	和歌山県
少年男子	大阪府	滋賀県	京都府	奈良県	兵庫県	和歌山県

※ が本国体出場

【大阪府参加選手名簿】

	成年男子	成年女子	少年男子
監督	山形 章悟 (医療法人和幸会)	木村 寛 (四條畷学園高等学校(教))	明石 浩和 (東大阪大学柏原高等学校(教))
主将	下農 走 (トナミ運輸株式会社)	兒玉 亜依 (立命館大学)	佐藤 瑠活 (東大阪大学柏原高等学校)
選手	三浦 昂 (株式会社タチバナ)	坂中 琴音 (立命館大学)	井上 結登 (東大阪大学柏原高等学校)
	曹淵鍼 (日本大学)	岩城 杏奈 (株式会社丸杉)	神山 剛輝 (東大阪大学柏原高等学校)

連盟ニュース

大阪中学校体育連盟バドミントン部

第16回大阪府中学生ダブルス大会

(4月9日・16日 東淀川体育館・四條畷サンアリーナ)

【男子】

	JBDの部	SBDの部
優勝	高重 尚希・安田 輝与斗 (四條畷学園中)	中村 優希・古川 裕貴 (田原中・四條畷学園中)
準優勝	岩崎 礼馳・古川 遥己 (四條畷学園中)	政倉 大志・松原 匠海 (KOMATSU)

【女子】

	JGDの部	SGDの部
優勝	清水 結衣・辻 若菜 (吹田六中)	山中 杏哩・岩井 葵晴 (四天王寺中)
準優勝	瀬田 侑楓・丸山 まひる (四條畷学園中)	石田 千晴・井口 果歩 (四天王寺中)

【組織一覧表】

令和5年4月19日

〔令和5(2023)～令和6(2024)年度 大阪府バドミントン協会役員〕

名誉会長 三宅祐司 会長 銭谷欽治 副会長 河合 茂 廣瀬園子
理事長 前野純一 副理事長 立花良明(事務局長兼務) 竹田由美子 生田健一

〔部長〕

〔副部長〕

〔担当理事〕

1 総務部	小田耀子	竹田由美子	池端康平	有吉晃平	永谷美穂	山内恵子	山内菊子	市野 修	山本浩之
2 財務部	大森滋人	中村康正							
3 競技部	木村幸子	生田健一	平井宏典	田上敬子	中留玉恵	東條安彦	宮本和文	石山大地	鷲見仁美 古川幸恵
4 指導部	喜多 努	有吉晃平	平井宏典						
5 審判部	百野郁子	伊藤智則	今林秀和	村上徹嗣	松村一三	田村淳子	高田真一郎	吉田 稔	畑中秀樹 西村ゆかり 大和 怜 若美直希
6 強化部	谷田尚嗣	西上正一	木村寛	河村昌明	仲尾信一	片山裕章			
7 広報部	大森滋人	有田圭一		酒井素子 平井直美					
8 国際部	山本浩之								

監 事 川崎武司 川端明徳

大阪中学校バドミントン選手権大会

(7月21日～28日 四條畷サンアリーナ他)

(☆:近畿大会出場)

	男子団体	女子団体
優勝	四條畷学園中 ☆	四天王寺中 ☆
準優勝	市岡東中 ☆	加美南中

※女子団体は、近畿大会出場決定戦で四條畷学園ジュニア(地域クラブ代表チーム)が加美南中に勝利し、近畿大会に出場

	男子シングルス	女子シングルス
優勝	中村 優希(田原中)☆	小林 茉央(四天王寺中)☆
準優勝	川又 康聖(豊津中)☆	山中 杏哩(四天王寺中)☆
第3位	河南 奏和(美原西中)☆	井口 果歩(四天王寺中)☆

	男子ダブルス	女子ダブルス
優勝	古川 裕貴・岩崎 礼馳(四條畷学園中) ☆	中村 結愛・石田 千晴(四天王寺中) ☆
準優勝	梶原 陽斗・増田 晃大(瓜破西中) ☆	射庭 紀乃・森崎 葉名(四天王寺中) ☆

【女子個人戦Ⅱ部】

	シングルの部	ダブルスの部
優勝	四方 綾香(高槻三中)	越智 そよか・中島 京雛(港中)
準優勝	山村 葵(佐井寺中)	山田 彩巴・舟橋 佳歩(芝谷中)

全日本ジュニアバドミントン選手権大会大阪府予選会

(8月3日 RACTABドームサブアリーナ)

	男子シングルス	女子シングルス
優勝	中塚 大翔(柏原ジュニア)	射庭 紀乃(四天王寺中)
準優勝	小立 晃成(柏原ジュニア)	加納 早柚美(四天王寺中)

※上記4選手が全日本ジュニア新人の部出場

近畿中学校総合体育大会バドミントン競技大会

(8月8日・9日 和歌山県立橋本体育館)

女子団体	優勝	四天王寺中
男子団体	準優勝	四條畷学園中
男子シングルス	準優勝	中村 優希(田原中)
男子ダブルス	第3位	古川 裕貴・岩崎 礼馳(四條畷学園中)
女子シングルス	優勝	小林 茉央(四天王寺中)
	第3位	井口 果歩(四天王寺中)
	第3位	山中 杏哩(四天王寺中)
女子ダブルス	優勝	中村 結愛・石田 千晴(四天王寺中)
	第3位	射庭 紀乃・森崎 葉名(四天王寺中)

(上記の学校、選手が全国中学校大会に出場)

全国中学校バドミントン大会

(8月20日～23日 高知県立春野総合運動公園体育館)

女子団体	第3位	四天王寺中
------	-----	-------

大阪中学校総合体育大会バドミントンの部

(9月2日・3日 四條畷サンアリーナ他)

	男子	女子
優勝	市岡東中	四天王寺中
準優勝	四條畷学園中	加美南中

大阪府中学生バドミントン初心者大会

(9月30日 四條畷サンアリーナ)

男子シングルス	優勝	露口 眺基(豊中八中)
女子シングルス	優勝	川本 琴心(摂津三中)
男子ダブルス	優勝	五十嵐 雅人・永井 航太郎(豊中八中)
女子ダブルス	優勝	松田 梨子・石田 時雨(墨江丘中)

大阪府レディースバドミントン連盟

前期団体リーグ戦

(5/29終了 東大阪市立総合体育館) ☆優勝のみ

1部	桜ヶ丘クラブ(A)	13部	スピード(B)
2部	茨木クラブ(A)	14部	高石クラブ(B)
3部	枚方フライデー(A)	15部	桜ヶ丘クラブ(C)
4部	鴨谷クラブ(B)	16部	平野クラブ(C)
5部	如月クラブ(A)	17部	ライム
6部	NEO CLUB(A)	18部	マミーズ(A)
7部	熊取(A)	19部	NEO CLUB(B)
8部	ドリーム(A)	20部	守口東部(C)
9部	ミルキーズ	21部	ドリーム(C)
10部	弥生クラブ(B)	22部	マミーズ(C)
11部	島本AOC	23部	PEANUTS
12部	如月クラブ(B)	24部	弥生クラブ(D)



前期1部優勝 桜ヶ丘クラブ(A)

第50回 個人戦

(9/8,11,13,15,20 東大阪市立総合体育館) ☆優勝のみ

S	濱上 由紀(桜ヶ丘クラブ) 御前 美希(豊中シスターズ)	C2	松浦 悦子・麻中 奈緒子(四條畷クラブ)
A	乾 清子・西川 真理絵(鴨谷クラブ)	D1	明田 亜希子・細谷 童子(NEO CLUB)
B1	石川 弘美・真鍋 智子(ジュピター)	D2	西 真弓・中井 紀久代(石切Let's)
B2	徳原 あずさ・喜 沙紀(四條畷クラブ)	E	松本 美和(鴨谷クラブ) 森 美妃子(しらさぎ)
C1	大地 静代・曾根 素子(わかばクラブ)		



Sランク優勝 濱上由紀・御前美希